



「ふるさと・坂祝学習」真っ最中

◆令和7年度第2回 坂祝幼稚園運営協議会開催

2月17日（火）に坂祝幼稚園で第2回幼稚園運営協議会が開かれました。会では、園長から今年度の1年間のまとめとして、保護者アンケート項目の結果と保護者からの意見の紹介がありました。



(1) 園長より（抜粋）

- ①登園を楽しみにしている。…97%
 - ・一つのこと集中できるようになった。食べられるものや量が増えた。
- ②身の回りのことや手伝いができるようになった。…92%
 - ・できることがどんどん増え成長を感じている。
- ③職員と子どもの成長や変化を共有できているか。…93%
 - ・送迎時や連絡帳で様子をたくさん教えてもらえるので安心して預けられている。



園児による発表

(2) 意見交流（抜粋）

- ・幼稚園がなくなるという話を聞いたが本当か⇒そんな話はない。3園があるのは選択肢があるということ。楽しいことをきちんとやる中で子どもに力をつけている活動は、アンケートのよい結果に表れている。町立の存在意義を示していきたい。
- ・3人子どもがいて7年間お世話になったが、アンケートの結果通りいい教育をしてもらった。バスがなくなるという変化がある中で運営をしてもらえた。
- ・年長児が行事で不在の時に、年中児がマイクで上手にアナウンスをしていた。教師が特に教えたわけではないということで、常日頃の年長児から学び、引き継がれている姿を見ることができた。

◆令和7年度第3回 学校運営協議会及び、地域・園・学校協働本部開催

2月27日（金）に坂祝小学校で第3回学校運営協議会と地域・園・学校協働本部が開かれました。会の前には、6年生による発表がありました。地域の方との交流を通して得た坂祝町への思いを表現した呼びかけと、合唱の披露がありました。参観された方々からは涙が出るくらい感動したというおほめの言葉がたくさんでました。



6年生による発表

その後、小中学校の校長たちから今年度の学校経営方針のまとめの発表がありました。

(1) 校長からの経営方針の説明

①小学校長より（抜粋）

- ・今日の6年生の発表は、相手意識や目的意識をもって聞かせたいという思いがあった発表だった。
- ・地域がよい影響を与えてきたと感じる1年だった。自ら学習課題をみつけての実践や、地域密着の体験があった。
- ・来年度は、問いを立てることを意識させることで受け身から、より主体的な人間に育つようにしていきたい。



②中学校長より（抜粋）

- ・職場体験など、今年度後半部分の活動の紹介。
- ・言葉で表すoutputを大事にしてきた。（中学生議会、県知事来校、学校給食選手権など）
- ・生徒理解のために教育相談アンケートを行ってきた。アンケートに書けない子もいるということを念頭に対応をしている。
- ・働き方改革により、職員の仕事の偏りがなくなった。
- ・来年度は、個の基盤を築くことと、他者とつながる力を育てていきたい。

(2) 意見交流

- ・外国籍の子が増えているが学力面で困っているようなので早く手を打った方がいいのではないかな。⇒坂中は日本で生まれて育った子が多く、家庭では母国語、外に出たら日本語で過ごしている。国籍に関係なく支援をしている。
- ・昔と学習指導方法が変わってきている。切り変わった時に親にも教えてほしい。⇒保護者への発信は今後大切になってくると思う。保護者も教科書を開いて一緒にやってもらうと子どもの心に残る。教師も変化を敏感に捉えていきたい。
- ・今年はインフルエンザが流行したが行事等への影響はあったか。⇒㊦学校行事や授業に大きな影響はなかった。2学期制になったことで昨年度以上に一緒に遊ぶなど子どもと向き合う時間が増えた。㊧期末テスト実施日を延期した。伝統を引き継ぐ会をリモートで行った。
- ・中学校でも「よいことみつけ」を行うことはよいことだと感じた。心の相談アンケートを実施する際に生徒にはどのように説明をしているか。⇒年に5回行っているのに特に説明はないが、中には書けない子もいるという構えているので5回中3回は面談をしている。アンケートは管理職も目を通してしている。



- (3) 園・学校協働本部…ふるさと絆委員会、地域スポーツ委員会、多文化共生委員会の3つに分かれて今年度の成果と課題が話し合われました。



だいすき! SAKAHOGI



CS新聞

「ふるさと・坂祝学習」真っ最中

《小学校》 ◆3年生 黒岩まつりばやし

3年生は、黒岩祭囃子保存会の方々から、お祭りの由来をなど教わって運動会の演技でも披露してきました。3月6日(金)には、1年近く学んできた総まとめとして、2年生に引き継ぐ会を行い、祭囃子を披露しました。

現3年生も2年生の時に今の4年生から引き継ぎました。今年は、笛や太鼓のお囃子だけでなく、獅子舞の様子も入りました。子どもの掛け声で、手づくりの獅子たちが舞うなど昨年以上に進化した姿を見せていました。

また、獅子に頭をかんでもらうと、頭がよくなったり、病気にならなかつたりするといわれているので、2年生は3年生の手作り獅子に頭を噛んでもらいました。



パート練習の様子(笛)

2年生からは「みんな揃っていてすごかった。3年になったら笛とか太鼓をやりたい。」という感想が出ました。会の最後に保存会の代表である梅田さんからは、「笛や太鼓を一生懸命に覚えて上手にできていた。獅子舞もかっこよかった。感動で胸が熱くなった。ぜひ、今の2年生も伝統を引き継いで、新しい2年生につなげるようになってほしい。」とお言葉がありました。



2月に入ってからは本番に向けて、毎週木曜日に保存会の方々の指導の下、練習を重ねてきました。子どもたちが使った笛や練習用の太鼓の竹は保存会の方々がすべて手づくりしてくださったものを使ってきました。おかげで、しっかりと2年生に成果を見せることができました。

◆5年生・6年生 家庭科実習支援

5年生と6年生は家庭科で調理実習やミシンなどの裁縫でボランティアをお願いしています。

今年に入ってからは、1月に6年生の調理実習、2月は5年生のナフキンづくりをもって、今年度のボランティア支援活動を終了しました。授業の前にはミシンの調節をして授業が順調に進むように準備をしてくださいました。また、授業中ミシンが止まった時や、作り方がわからないという子どもたちの声に優しく応えてくださるなど、子どもたちの「できた。」という

思いに向けて支援をしてくださいました。

◆4年生 坂祝のため池について学ぼう



2月19日(木)にふるさと館(郷土資料館)で、ため池の水の利用についてふるさと会の方々から教えていただきました。これは、社会科の授業の一環で、私たちの町坂祝について学ぶ学習です。田や畑の水を確保するために、用水をつくったり、耕地整理をしたりして、よりよい生活のために努力した話を聞きました。熱心に聞きながらメモをとる姿がありました。

◆2年生 安心して3年生に進級するために



2年生では、学習の基礎となる九九を確実に覚えるために九九の合格判定を学習支援ボランティアの方にもやっていただきました。3月に入ってからは学習も終わったので、ドリルで復習をしています。ボランティアの先生方に丸付けをしてもらい、わからない箇所については教えてもらったりしています。忘れていたことも復習で確かな力に変えているので、少しでも安心して3年生に進級できることでしょう。



2年生まよめの復習 丸つけ

《幼稚園》 ◆シーキューブで収穫体験



2月5日(木)に年長児27名が、シーキューブでミニトマトの収穫体験をしました。例年は幼稚園バスを使って行いましたが、幼稚園バスが12月で廃車になったので歩いていきました。CSの菅沼誠嗣さんと小島利成さん、中村良一さんも引率をしてくださり、安全な行き帰りができました。子どもたちは、ミニトマトの収穫体験をしてきました。当日は、おなじみのチャスさんも来ていて、歌や踊りで楽しい交流をしてくることもできました。



《遊々こども園》 ◆ふるさと館見学

3月11日(水)に年長児36名がふるさと館に行って、七段飾りや、つるしびな、昔の道具などを見て回りました。特に、3月7日(土)の公民館まつりで披露したオペレッタ「あほうろくの川だいこ」に出てくる石うすの前では、昔は明日の食べ物のために夜なべをして引いたことなどを聞きました。「石うすを引くのは重いですか。」や「石うすはどうやって作られていますか」など興味をもって、次々と感想や質問が出ていました。



《 地域でも「だいすき さかほぎ」に 》

親子たこ揚げあそび 坂区良をBVの会

毎年恒例の親子たこ揚げあそびが2月28日(土)11時半から13時半まで総合グラウンドで行われました。一週間前には、会の方たちによるたこつくりの準備がありました。当日は、親子で楽しんでもらおうと、朝早くからカレーうどんや焼き芋の準備などがされました。



11時30分から、おにぎりや手作りのカレーうどんをいただいた後、家からもってきたたこや、会の方々から支給されたたこをあげました。当日は41組の参加がありました。天気がよく風もあって、多くのたこが空高く舞い上がりました。たこを揚げている人、それを見ている人など、グラウンドに集まった人は皆それぞれの思いで楽しむことができました。帰りにはジュースやお菓子、石焼き芋もお土産にいただいて、親子からは「ありがとうございました。」と、感謝の声が響いていました。



公民館まつり 多文化共生

3月7日(土)に公民館まつりがありました。そこで、坂祝小学校に在籍している外国人のお友達が、お父さんやお母さんの生まれた国のことを紹介しました。当日は、2年生のペルーのパメラさんと、ブラジルでは、2年生のアイミさんと、3年生と5年生の龍二さんと龍聖さん兄弟が発表しました。発表内容は、主に国の言葉や食べ物などについてです。こどもが発表することを喜んでくださって、親子で作成した素敵な掲示物があり、それを示しながら発表をした子もいました。



発表が終わると、「ありがとう」を意味するペルー語で「グラスアス」や、ブラジルの言葉「オブリガーダ」を言って行く人たちがいました。コミュニティ・スクールでは「だいすき 坂祝」になる子を願って活動をしていますが、外国のことも発表できるすてきな「坂祝」になっています。今回は2か国でしたが、坂祝小学校には6か国から来日しています。来年度も紹介できることを願っています。

当日は、ジュニアリーダーの人たちがいろいろな場面でボランティアとして大変活躍しましたが、小学校3年生の修也さんも参加してお手伝いをしました。ボランティアのみなさん、ありがとう。

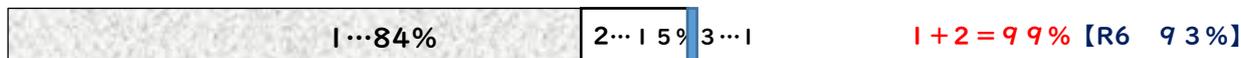


当日は、ジュニアリーダーの人たちがいろいろな場面でボランティアとして大変活躍しましたが、小学校3年生の修也さんも参加してお手伝いをしました。ボランティアのみなさん、ありがとう。

坂祝町コミュニティ・スクール新聞 令和8年1～3月活動版
「だいすき さかほぎ」に関わる6年生のアンケートから

2月27日の運営協議会の前に地域の方々への感謝の言葉を発表してくれた6年生に昨年度と同じようにアンケートをお願いしました。下記の4段階でつけてもらいました。【】は昨年度の6年生の結果
1 あてはまる 2 どちらかといえばあてはまる 3 どちらかといえばあてはまらない 4 あてはまらない

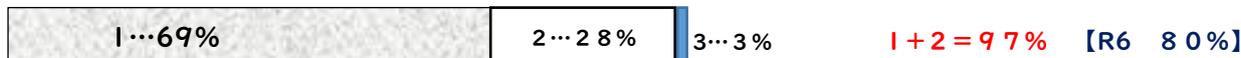
①坂祝の夏まつりや、スポーツイベントなどの行事に参加したことがありますか



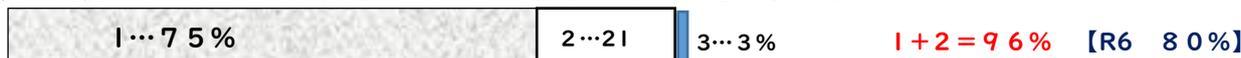
②地域（坂祝）や社会をよくするために何かをしてみたいと思うことがありますか。



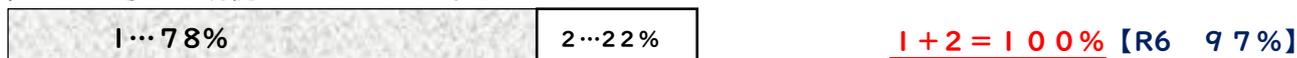
③外国の人と友達になったり、外国のことをもっと知ったりしてみたいと思いますか。



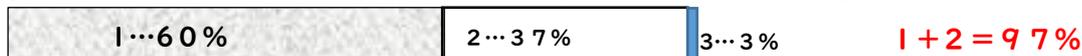
④日本や坂祝のことについて、もっと知ってもらいたいと思いますか



⑤学習などを通して坂祝のことがより好きになりましたか



⑥坂祝のためにボランティアの活動に参加して、よくしてみたいと考えますか



子ども達の感想から（一部紹介）

- ・いつも安全な登下校や、楽しい活動ができるのは地域の方々のおかげでありがたみを感じた。
- ・自分の時間を使ってまで教えていただいたおかげで、ミシンや包丁の使い方、合唱が上手になった。
- ・岩屋観音、中山道など、自分の知らない坂祝のことがまだまだあることが分かり、坂祝のことがもっと好きになったし、もっと知りたくなった。
- ・坂祝のことを教えてもらって、外国の方にわかりやすく伝えることができうれしい。
- ・坂祝は祭りなどのイベントも多いし、いろいろなボランティアさんが来て親切な人ばかりだと思った。
- ・中学校に行っても地域の活動があるので協力していきたい。
- ・坂祝のすばらしい文化や伝統を後世にも伝えて、だれもが「大好きさかほぎ」と言えるようにしたい。

考 察

- ・4の「あてはまらない」がどの項目でも一人もおらず、坂祝への愛着が増していると思われる。
- ・「坂祝が好き」が100%になった。昨年度は97%であった。特に、1番のあてはまるの割合が今年度は78%と昨年度（65%）よりも上昇した。・地域への貢献の気持ちが高まっている。
- ・学校の多大な理解のもと、協働で実践してきた結果、地域への感謝の心が年々高まっている。
- ・地域から学んだ坂祝のよさを発信することで、よさを再確認でき「だいすき坂祝」につながっている。